

清水第八中グループ（清水入江小・清水第八中） 「防災訓練～防災交流会」（R6. 12）



12月1日は、地域防災訓練の日でした。
清水入江小学校はこの日を「防災学習の日」とし、午前中は各自治会の防災訓練に参加し、午後は登校して防災について考える時間をとります。
地域防災訓練では、各地区の自主防災会の指導をいただき、担架で運んだり、簡易トイレを立てたり、消火器を使ったりする練習などをしたようです。
地域の方とともに体験を通して学ぶ時間となりました。



12月1日（日）快晴のもと、地区防災訓練が行われました。それに先立ち、入江の小中学生が主体的に活動できるように、11月14日（木）に訓練内容や準備に必要な段取りなどを、入江小6年生地区代表児童や八中3年生地区長が自治会長や地区防災担当者と事前に協議する「地区担当者会」を開催しました。その中で、当日の小中学生の役割についても確認されました。八中では29日（金）に地区別会合を開き、地区長が各地区の生徒に地区担当者会で決定した内容を伝達するなど、地域と学校が連携しながら訓練当日を迎えました。

当日は受付で名簿にチェックし、参加人数を報告することや、力の必要な救助・運搬活動を担うなど、中学生に任された役目を全うしました。また、中学生がリーダーになり、訓練用の消火器に水を補充し、消火剤散布の方法を低学年の小学生に丁寧に教えながら練習したり、背の高いテント型トイレの骨組みを組んでから小学生に手伝ってもらってテントシートを張ったりするなど、ほほえましい姿を見ることができました。

今回の経験をもとに、さらに防災に関する知識やスキルを身に付け、小学生を導き、大人を支え、地域から頼りにされるたくましい人材になってほしいです。

準備の段階から中学生を指導し、訓練当日は中学生に仕事を任せ、活躍の場を与えてくれた自治会長・地区防災担当者をはじめとする地域の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。（清水第八中学校 令和6年12月学校だより より全文）



清水第八中学校2年生と「防災」について、交流会をしました。

避難場所となっている清水第八中学校の校内図を使い、避難所の運営をどのように行っていけばよいのかを知ることができました。

また、アルファ化米の作り方や食べるときの工夫について学ぶことができました。工夫された非常食を食べている中で、「災害でつらい時でも元気になる味」や「自分たちも周りの人を元気にしたい」という声が上がっていました。

